

2020年4月14日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL20-18

日本イーライリリー 2019年度売上高は2,750億円を達成 —持続的に成長し対前年比売上4.5%増、数量6.5%増—

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)は、2019年度の業績について、売上高が対前年比4.5%増の2,750億円¹、販売数量6.5%増を達成したと発表しました。グローバル全体で「2014年から2023年までの10年間で20の革新的新薬の承認」を目指した「20 in 10」開発計画に沿って新製品を継続的に発売、市場に浸透させたことにより、成長を持続させました。

2019年 主な業績、開発進捗

<業績>

糖尿病領域: マーケットリーダーの地位を確立

- ・ GLP-1 受容体作動薬「トルリシティ^{®2}」33%増*
- ・ SGLT-2 阻害薬「ジャディアンス^{®3}」31%増*
- ・ ジャディアンス[®]と DPP-4 阻害薬「トラゼンタ[®]」との配合剤で 2018 年に発売した「トラディアンス^{®4}」475%増*

がん領域:

- ・ 適応拡大した「サイラムザ[®]」9%増*
- ・ 2018年に発売した乳がん治療薬「ページニオ[®]」3,562%増*

自己免疫疾患領域:

- ・ 関節リウマチ治療薬「オルミエント[®]」278%増*
- ・ 強直性脊椎炎に適応拡大した「トルツ^{®5}」56%増*

<承認取得・適応追加>

- ・ 抗悪性腫瘍剤「ポートラーザ[®]点滴静注液 800 mg」切除不能な進行・再発の扁平上皮非小細胞肺癌に対する治療薬として製造販売承認を取得(2019年6月18日)
(製造販売承認は日本化薬株式会社に承継)
- ・ 抗悪性腫瘍剤「サイラムザ[®]点滴静注液 100mg、同点滴静注液 500mg」がん化学療法後に増悪した血清 AFP 値が 400ng/mL 以上の切除不能な肝細胞癌に対する適応追加(2019年6月18日)
- ・ 「トルツ[®]皮下注 80mg オートインジェクター」「トルツ[®]皮下注 80mg シリンジ」強直性脊椎炎に対する適応追加(2019年11月22日)

¹ 決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字

² 大日本住友製薬株式会社との販売提携

³ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁴ 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

⁵ 鳥居薬品株式会社との共同販促(コ・プロモーション)

* 薬価ベース、Copyright © 2020 IQVIA. JPM 2019年1月-12月 MATをもとに作成 無断転載禁止

2019年度の業績について、日本イーライリリー代表取締役社長のシモーネ・トムセンは次のように述べています。「研究開発型の企業として、グローバル全体で、糖尿病、がん、自己免疫疾患、疼痛、神経変性疾患を重点領域に据え『2014年から2023年までの10年間で20の革新的新薬の承認』という計画に沿って、日本でも、革新的な医薬品をいち早く届けられるよう開発を進め、世界同時開発の割合を80%以上と高い比率で継続しています。その計画の中で近年発売した製品が売上を牽引し、対前年比売上4.5%増、数量6.5%増と成長を持続させることができました。

ますます多様化する患者さんや医療関係者の方々のニーズに応え、患者さんにより良い価値を提供していくためには継続的なイノベーションが必要です。そのために私たちは『患者さん中心志向』を重要視しており、創薬のみにとどまらず、引き続きデジタルテクノロジーの活用なども推進しながら、研究開発の段階から患者さんが当社の医薬品を処方された後に至るまでのバリューチェーン全体の価値向上を今後も目指してまいります。

日本イーライリリーは、社員一人ひとりの多様な価値観を受け入れ活かすことが、社員と会社の成長および患者さんが真に必要な医薬品の開発につながると考え、会社の重要な戦略の一つとして、『ダイバーシティ&インクルージョン』や健康経営に取り組んでおり、より一層強化してまいります。今後も会社として持続的に成長し、革新的な医薬品やソリューションの提供を通じて、患者さんや医療関係者の方々、社会の多様なニーズに応え、日本の皆さまのより豊かな人生に貢献できるよう、努力してまいります。」

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.lilly.comおよび <https://newsroom.lilly.com/social-channels>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

(参考資料)

2019年度 製品別売上高 (日本)(薬価ベース、IQVIA JPM (2019年12月MAT)をもとに作成)

製品名	2019年売上高(億円)	対前年比(%)
サインバルタ®	610.99	9.0%
サイラムザ®	484.58	9.3%
フォルテオ®	435.79	-11.5%
トラゼンタ®	381.53	-1.6%
アリムタ®	369.99	11.3%
トルリシテイ®	284.38	33.3%
ジャディアンス®	222.89	30.5%
ストラテラ®	155.30	-46.7%
ザルティア®	151.34	13.1%
ジプレキサ®	130.10	-26.9%
ヒューマログ®ヒューマリン®	121.96	-6.4%
ページニオ®	103.87	3561.5%
オルミエント®	87.26	278.3%
ヒューマトロブ®	77.78	-3.3%
トラディアンス®	64.47	474.6%
トルツ®	55.70	56.4%
エビスタ®	53.37	-23.0%
インスリン グラルギンBS注「リリー」	44.49	7.5%
ジェムザール®	17.04	-18.0%

本表の合計は決算ベースの売上の数字と一致しません。

Copyright © 2020 IQVIA. 無断転載禁止

開発品一覧 2020年3月31日現在

治験薬記号(一般名)および剤型	予定される効能又は効果、対象疾患名および症状名	国内の開発段階
LY275585 (一般名:インスリンリスプロ[遺伝子組換え]) / 新規の超速効型インスリンリスプロ 皮下注製剤	インスリン療法が適応となる糖尿病	承認
LY900018 (一般名:グルカゴン)点鼻粉末剤	低血糖時の救急処置	承認
LY2951742 (一般名: galcanezumab) 皮下注製剤	片頭痛発作の予防	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	アトピー性皮膚炎	開発後期
LY2439821 (一般名: イキセキズマブ) 皮下注製剤	体軸性脊椎関節炎	開発後期
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ[遺伝子組換え]) 静注製剤	非小細胞肺癌	開発後期
LY3012207 (一般名: olatumab) 静注製剤	軟部肉腫	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	全身性エリテマトーデス	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	若年性特発性関節炎	開発後期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	円形脱毛症	開発後期
LY3074828 (一般名: mirikizumab) 静注製剤, 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	開発後期
LY3074828 (一般名: mirikizumab) 皮下注製剤	尋常性乾癬	開発後期
LY3074828 (一般名: mirikizumab) 静注製剤, 皮下注製剤	クローン病	開発後期
LY450190 (一般名: タダラフィル) 経口投与製剤	肺動脈高血圧症(小児用量)	開発後期
LY3298176 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	2型糖尿病	開発後期
LY3298176 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	肥満又は併存疾患を有する過体重	開発後期
LY2835219 (一般名: アベマシクリブ) 経口投与製剤	乳癌における術後補助療法	開発後期
LY2062430 (一般名: ソラネズマブ) 静注製剤	プレクリニカル期アルツハイマー病	開発後期
LY3527723 (一般名: selpercatinib) 経口投与製剤	RET 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌	開発後期

LY3527723 (一般名: selpercatinib) 経口投与製剤	RET 遺伝子変異陽性甲状腺髄様癌	開発後期
LY573144 (一般名: lasmiditan) 経口投与製剤	片頭痛	開発中期
LY3298176 (一般名: tirzepatide) 皮下注製剤	非アルコール性脂肪肝炎	開発中期
LY3303560 (一般名: zagotenemab) 静注製剤	早期症候性アルツハイマー病	開発中期
LY3375880 (一般名: 未定) 皮下注製剤	アトピー性皮膚炎	開発中期
LY3002813 (一般名: donanemab) 静注製剤	アルツハイマー病	開発中期
LY3074828 (一般名: mirikizumab) 静注製剤, 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎(小児用量)	開発中期
LY3009104 (一般名: バリシチニブ) 経口投与製剤	アトピー性皮膚炎(小児用量)	開発中期